

ハーバード大学公衆衛生大学院 (HSPH) 武見プログラム視察 (報告) の件

1. 出張日程：平成 29 年 6 月 9 日 (金)
2. 出張先：ボストン (アメリカ)
3. 出張者：松原副会長、道永常任理事
(随 行) 国際課 能登課長
4. 内 容：

松原副会長、道永常任理事が、9 日にハーバード大学公衆衛生大学院 (HSPH) 武見国際保健プログラムの視察を行った。先ず、マイケル・ライシュ主任教授との面談では、プログラムの現状と今後について、来年 2 月東京における「日本医師会ハーバード大学武見太郎記念国際シンポジウム」の企画内容、講師等について議論した。続いて、カレン・エモンズ学部長と面談し、ハーバード大学における武見プログラムの存在意義と評価、そして本会の協力についての認識を改めて共有した。その後、8 名の武見フェローによる研究内容の説明 (後出) を受け、それぞれにコメントを述べた。次いで、HSPH 及び大学関連病院における日本人研究者との懇談を行った。その後、同大学 Faculty Club での夕食会では、ライシュ教授、武見フェローと懇親を図った。

武見プログラム視察に併せ、8 日にニューヨークの JETRO ニューヨークセンターを訪問し、川端裕之ディレクター (厚生労働省) と面談を行い、アメリカの医療における最新の動向について情報及び意見交換を行った。

また、10 日、ニューヨークにおける米国日本人医師会との夕食会では、同医師会の安西弦会長、本間俊一元会長、ロバート柳澤副会長、加納良雄事務局長と懇談を行った。米国日本人医師会は、2008 年、ニューヨークブロンクスウッドローン墓地に埋葬されている野口英世博士の墓碑の修復を行った。この事業が契機となり、2013 年、米国日本人医師会を母体としたニューヨーク野口英世記念会が発足した。ニューヨークでは、この記念会が管理している野口英世博士の墓所を訪問した。

5. 日 程

6 月 8 日 (木)	羽田→ニューヨーク JETRO ニューヨークセンター訪問 ニューヨーク→ボストン
6 月 9 日 (金)	武見プログラム視察、Faculty Club 夕食会
6 月 10 日 (土)	ボストン→ニューヨーク 野口英世博士墓所訪問、米国日本人医師会との懇談夕食会

6. 2016-2017 年武見フェロー報告者

氏名	所属	研究テーマ
Lilian Dudley (南アフリカ)	ステレンボッシュ大学医学保健学部保健システム・サービス研究センター創設者	南アフリカ西ケープ州における退院後の結核患者のコミュニティケアの改善
江口 尚 (日本)	北里大学医学部公衆衛生学助教	日本版職場のソーシャル・キャピタル尺度の開発
Ramiro Guerreiro-Carvajal (コロンビア)	Icesi 大学 PROESA	管理された競争下でのコーポレートガバナンスと健康計画と医療提供者の説明責任への理解と規制
Hongsoo Kim (韓国)	ソウル国立大学公衆衛生大学院医療管理政策部准教授	韓国と台湾における高齢者の回避可能な入院サービス利用：二国間研究
Geogiana Yaa Oduro (ガーナ)	ケープコースト大学上級講師	ガーナ大都市において拡大する小児売春
大川 純代 (日本)	東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室特任研究員	ガーナにおける母子保健医療の質に関する影響の評価
Nikechi Inyeneho (ナイジェリア)	ナイジェリア大学上級講師	妊産婦ケアサービスの利用：ナイジェリア南部地域における母親の経験
Myoungsoon You (韓国)	ソウル国立大学公衆衛生大学院准教授	2015 年の MERS 発生に対する韓国の対応からの教訓

7. 日本人研究者

Hirayama, Atsushi	救急部、マサチューセッツ総合病院
引地 博之	HSPH 社会行動科学部門
松村 漠志	厚生労働省大臣官房厚生科学課
Sasatamo, Naoko	ブリガム&ウィメンズ病院産婦人科
Sasamoto, Yuzuru	ブリガム&ウィメンズ病院遺伝子部門
後藤 匡啓	救急部、マサチューセッツ総合病院
Yanagisawa, Naoki	HSPH 環境保健学部
財津 将嘉	HSPH 社会行動科学部門

2017年アメリカ医師会（AMA）年次総会出席（報告）の件

1. 出張日程：平成29年6月12日（月）－13日（火）

2. 出張先：シカゴ（アメリカ）

3. 出張者：横倉会長、松原副会長、道永常任理事
（随行）国際課 能登課長、小林主査

4. 内 容：

横倉会長、松原副会長、道永常任理事が、シカゴで開催された2017年アメリカ医師会年次総会に出席した。12日は海外賓客夕食会が行われ、AMAからジェームズ・マダラ CEO、アンドリュー・ガーマン会長、アーディス・ホヴェン世界医師会（WMA）議長（AMA元会長）、歴代会長、WMAからケタン・デサイ会長（インド）、オトマー・クロイバー事務総長（ドイツ）、各国医師会からは、イスラエル医師会レオニード・エイデルマン会長、カナダ医師会ローラン・マルクー次期会長、スウェーデン医師会ハイディ・ステンスミレン会長、タイ医師会ロンナチャイ・コングサコン会長の他、イギリス医師会、韓国医師会、オーストラリア医師会が出席した。

13日は、デビット・バーブ新会長（2017－18年）の就任式が行われた。バーブ会長は、ミズーリ州の家庭医で、就任挨拶に際し、リーダーシップの在り方として、「必要な行動をモデル化し、協力的に働き、コンセンサスに基づいて解決策を見出し、医療チームのすべてのメンバーのスキルを活用してケアを改善し、他者との交流において完全性と敬意を示すことにある」と述べた。次期会長にはニューメキシコ州の腫瘍学者であり、アメリカ医師会理事で女医のバーバラ・マクネニー氏が選出された。

総会では、「新たな合法合成ドラッグ（スパイス）乱用に対する戦略と教育」、「岐路に立つ医療制度改革論議の洞察」、「疼痛管理や蔓延するオピオイド依存症に対する新たな戦略と教育」、「トランスジェンダーの患者に対する支援」、「難民や移民における質の高い医療を受ける権利」等の議論が行われた。

5. 日 程：

6月12日（月） 海外賓客夕食会出席

13日（火） バーブ新会長就任式出席、年次総会夕食会出席

6. AMA 総会期間中に面会した AMA 幹部

Dr. James Madara	CEO
Dr. David Barbe	新会長 2017-18
Dr. Andrew Gurman	前会長 2016-17
Dr. Steven Stack	元会長 2015-16
Dr. Robert Wah	元会長 2014-15
Dr. Ardis Dee Hoven	元会長 2013-14、WMA 議長 2015-
Dr. Cecil B. Wilson	元会長 2010-11、元 WMA 会長 2012-13
Dr. J. Edward Hill	元会長 2005-06、元 WMA 議長 2007-11
Dr. Yank D. Coble	元会長 2002-03、元 WMA 会長 2004-05
Dr. Randolph D. Smoak Jr.	元会長 2000-01、元 WMA 議長 2001-03
Dr. Joe Heyman	元議長、WMA 準会員会議議長

7. 面会した主な海外賓客

Dr. Ketan Desai	WMA 会長
Dr. Otmar Kloiber	WMA 事務総長
Dr. Andrew Dearden	イギリス医師会財務担当、WMA 財務担当
Dr. Leonid Eidelman	イスラエル医師会長
Ms. Leah Wapner	イスラエル医師会事務局長、弁護士
Dr. Laurent Marcoux	カナダ医師会次期会長
Dr. Luce Lavoie	カナダ医師会副会長
Dr. Pilsoo Lee	韓国医師会議長
Dr. Cheoulsu Kim	韓国医師会理事
Dr. Heidi Stensmyren	スウェーデン医師会長
Dr. Ronnachai Kongsakon	タイ医師会長
Prof. Dr. Somsri Pausawasdi	タイ医師会 CEO